



二小っ子

元気いっぱい やさしさいっぱい 本気でがんばる二小っ子

第1号
令和5年4月28日
天理市立二階堂小学校
文責 島田 宇一郎

若葉が美しい風薫るさわやかな季節となりました。令和5年度の新学期がスタートしました。

4月1日に二階堂小学校に着任し学校長を務めさせていただいております島田宇一郎と申します。今年度は、新1年生34名が入学し、全校児童261名の教育活動を、37名の職員で進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。(裏面に今年度の学校体制を載せております)

さて、二階堂小学校は今年で創立136年を迎える歴史と伝統のある学校です。ご存じであると思いますが、二階堂小学校の敷地の北側には「ラクウショウ」という大きな樹木があり、二階堂小学校のシンボルとなっています。この木のそばにプレートが設置されており、そこには「明治20年5月の開校時に植えられたものといわれており、歴代卒業生はもとより、地域の人々にも親しまれている。」と書かれています。二階堂小学校の長い歴史を想うと、これまでたくさん子どもたちがこの学び舎から巣立ち、多くの保護者様と地域の皆様が学校を支えてくださったのだと強く感じます。そんなみんなの思いがいっぱいつまった二階堂小学校の歴史を大切に、これから二階堂小学校で学び伸びゆく子どもたちのために、職員一同力を合わせ、精一杯教育活動に取り組んでまいりたいと考えています。



<学校教育目標>

本校の教育目標は、「人間尊重を基盤に確かな知性と豊かな心を培い、個を伸ばす教育の創造を図り、共に学び合う人間性豊かな児童の育成をめざす」です。そして、目標に向けた取組の基本方針は次の4つです。

- ① 確かな学力の定着
- ② 楽しい学校・楽しい学級づくり
- ③ 自らの健康と生命を大切にする児童の育成
- ④ 保護者・地域と共に歩む開かれた学校づくり

これからの学習や取組、学校行事などの具体的な様子をこの学校だよりでもお伝えしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



4月17日(月)全校朝会の話より

「ありがとう」

感謝の気持ちを表す言葉です。友達や周りの人に助けてもらったときや何かしてもらったときなどに「ありがとう」と相手に伝えると、お互いの心が通じ合います。「ありがとう」は、人と人の心をつなぐ魔法の言葉です。

「だいじょうぶ」

「だいじょうぶ」という言葉は、どんなときにつかうでしょう。友達や周りの人に「だいじょうぶ?」とたずねたり、「だいじょうぶ!」と友達を励ましたりもしますね。「だいじょうぶの心」は相手のことを「気づかう心」でもあります。

「ごめんなさい」

友達や周りの人にわるかったなと思うことをしてしまったり言ってしまったら、相手に「ごめんなさい」と伝えた経験は誰にもあると思います。「ごめんなさいの心」は、「素直な心」でもありません。その気持ちをわかってあげることも大切です。

子どもたちがよりよい関係を築けることを願い3つの言葉について子どもたちに話をしました。みんなが笑顔で過ごせる学校にしましょう。

